

12・8 戦禍を語り継ぐ会 講演会

「日本の安全のためには日米安保は必要だ」
オスプレイが地元へ駐屯することを拒みながら、人々は言う
「経済成長のためには安定した電力は欠かせない」
放射能に汚染された土壌や使用済み核燃料が地元へ搬入されることを拒みながら人々は言う
自らは安全な場所に身を置きながら、防衛と電力を特定の場所に押し込める
その状態をある人はこう表現する。「犠牲のシステム」と
私たちは戦後一部の人々に犠牲を強いて、平和と経済成長を享受してきた
しかし、いつまでも一部の民や地に犠牲を強い続けることはできない
「世界一危険な飛行場」と称される普天間飛行場
その代替地として辺野古が浮上して久しい
美しい海にはジュゴンをはじめとする稀少生物が生息する
その海に米軍の滑走路はできるのか
沖縄タイムスの記者として、永年基地の歴史に向き合い続けてきた屋良朝博が
沖縄の現実について語る

「沖縄 基地と日米同盟」 ～ 明日の沖縄を考える～

講演：屋良 朝博 やら ともひろ
元沖縄タイムス社論説員 琉球大学・沖縄国際大学非常勤講師

1962年 沖縄県北谷町生まれ。フィリピン国立大経済学部卒、1988年沖縄タイムス社に入社。
93年-96年政経部基地担当、97-98年東京支社で防衛庁や官邸、国会などを担当。2007-08
年ハワイ東西センター客員研究員、09-12年3月まで論説委員、編集局社会部長。12年6月退職。
著書「砂上の同盟」(沖縄タイムス社)、「誤解だらけの沖縄・米軍基地」、共著「改憲と国防」、「虚像
の抑止力」(以上、旬報社)

2014年

12月11日(木) 開場 18:00
開演 18:30

会場：西本願寺札幌別院

札幌市中央区北3条西19丁目2番地1
地下鉄東西線「西18丁目駅」下車徒歩8分 Tel(011)611-9322

参加費：1,000円

主催 / 12・8 戦禍を語り継ぐ会

後援：護憲ネットワーク北海道
北海道平和運動フォーラム
念仏者九条の会・北海道

事務局：お問い合わせ / 浄土寺 札幌市北区篠路2条6丁目4-18
Tel(011)771-6433 Fax(011)771-6456